

製品名: Cdk11A/B ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab08549**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	90kDa

抗原情報

遺伝子名	CDK11A/CDK11B CDK11A; CDC2L2; CDC2L3; PITSLREB; Cyclin-dependent kinase 11A; Cell division cycle 2-like
別名	protein kinase 2; Cell division protein kinase 11A; Galactosyltransferase-associated protein kinase p58/GTA; PITSLRE serine/threonine-protein kinase C
遺伝子 ID	728642/984
SwissProt ID	Q9UQ88/P21127
免疫原	Cdk11A/B 由来の合成ペプチド。アミノ酸範囲: 190-270

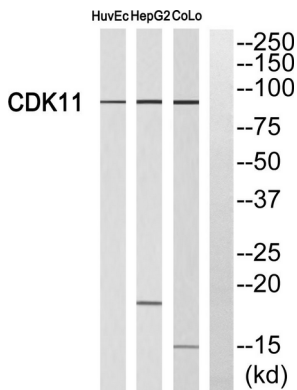
背景

この遺伝子は、セリン/スレオニンプロテインキナーゼファミリーのメンバーをコードしています。このキナーゼファミリーのメンバーは、真核生物の細胞周期制御に必須であることが知られています。分節重複のため、この遺伝子は隣接する遺伝子と非常に高い配列相同性を有しています。神経芽腫では、これら2つの遺伝子が頻繁に欠失または変異しています。この遺伝子によってコードされるプロテインキナーゼはカスパーゼによって切断され、細胞のアポトーシスに関与している可能性があります。選択的スプライシングにより、複数の転写産物バリエーションが生じます。[RefSeq 提供、2015年9月]、注意：ここに示す配列は Ensembl 自動解析パイプラインから得られたものであり、予備的なデータとして考慮する必要があります。

研究分野

-

画像データ



CDK11 抗体のウェスタンブロット解析。右レーンが CDK11 ペプチドでブロッキングされている。